

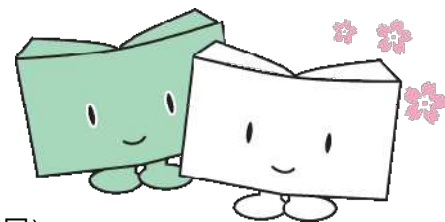
第3次津山市子ども読書活動推進計画

～つやまっ子読書プラン～

概要版

【第3次計画策定までの経過・背景】

国・県 平成13年：「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行
子どもの読書活動への関心の高まり
平成14年8月：子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（国）
平成15年3月：第1次岡山県子ども読書活動推進計画～おかやまどろんどろん読書プラン～（県）



津山市 平成16年3月：津山市子ども読書活動推進計画～つやまっ子読書プラン～（第1次）
【実施期間】平成16年度～20年度
平成21年3月：津山市子ども読書活動推進計画～つやまっ子読書プラン～（第2次）
【実施期間】平成21年度～25年度
平成26年3月：津山市子ども読書活動推進計画～つやまっ子読書プラン～（第3次）
【実施期間】平成26年度～30年度

読書の意義と重要性

子どもの頃に本に触れることは、人間として成長する大きな要素となります。
そして、子どもと本との出会いを手助けするためには、身近な大人の存在が必要です。



【第3次計画の策定にあたり、アンケートから見てきた津山市の子どもの読書活動に関する課題】

【 幼稚園・保育所(園)年長保護者対象】

保護者の読書離れの進行。
読み聞かせのやり方がわからない親の存在。
保護者に多忙感。
子どもと触れ合う時間が減少。

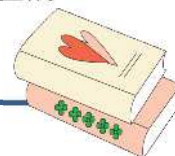
【 小学校5年生児童対象】

本を読む子と読まない子の二極化。
魅力的なメディアが多く、読書の割合が減少。
20%以上の児童が読み聞かせをしてもらっていない。

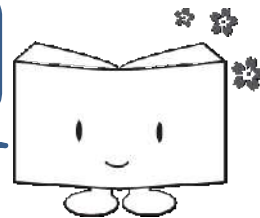
読書習慣の定着には、乳幼児期からの支援が必要

取り組む方向性

子どもの周りにいつも本があるよう、読書環境の整備
家庭教育につながる子どもの読書活動推進



【第3次津山市子ども読書活動推進計画の特徴】



【ビジョン】

一人でも多くのつやまっ子が本と仲良くなるように、本との出会い・きっかけづくりを推進します。

子どもの読書活動推進のために、家庭・学校・地域等の連携を進め、よりよい読書環境づくりに努めます。

【特色】家庭教育の支援につながる、子どもの読書活動の推進

第2次計画では、主に小学生を対象に取り組みを進めていましたが、

第3次計画では、乳幼児期の子どもを持つ親に対して、重点的に読み聞かせや読書の大切さを啓発します。

基本方針・重点プロジェクト

基本方針1：家庭教育への支援及び地域との協働による読書活動の推進

- ・保護者に、読書の意義と重要性について、意識を高める取り組みを進め、家庭教育力の向上に繋げる。
- ・「つやまっ子に贈る絵本リスト」の配布、読み聞かせのための講習会の開催や、ブックスタートなどの充実。
- ・読書に係るボランティアや団体などの把握及び情報提供。
- ・地域による読書支援活動が広がるよう、ボランティア養成のための研修会の開催。



基本方針2：市立図書館の機能を活かした読書活動の推進

- ・児童図書や自動車文庫巡回の拡大など、施設環境の整備。
- ・図書館の役割と読書の楽しさや必要性を啓発するための講演会や講座の開催。
- ・子どもの居場所づくりや読書推進につながるような学校や公民館等が行う読書活動を支援。
- ・郷土にちなんだ資料の紹介や展示。
- ・保育所(園)、幼稚園、学校や公民館などでの子どもの読書活動や学習活動が進むよう、ニーズに応じた支援の充実。



基本方針3：学校等における子どもの読書活動推進

- ・朝読書や読み聞かせ等を取り入れ、子どもの読書に関する意識の高揚を図る。
- ・市立図書館と連携し学校図書館の図書資料を計画的に整備。
- ・ボランティアによる読み聞かせやストーリーテリングなど、地域と連携した子どもの読書活動を推進。
- ・「チャレンジ・ハッピーデー」や「げんぼプロジェクト」を読書活動と組み合わせて推進。
- ・子どもの読書活動が進むよう、教職員等の指導者を対象とした研修会の開催。



基本方針4：子どもの読書活動の推進に関する啓発推進

- ・子どもの読書活動を地域全体で支援する必要性を啓発。
- ・「広報つやま」やホームページ、ソーシャルメディア等を通じて、子ども読書活動推進関連事業をPR。
- ・「こどもの読書週間」や「子ども読書の日」、またその行事についてPR。
- ・ボランティアによる読書活動支援の有効性と重要性について広め、地域をあげた読書活動が進むよう啓発。
- ・「生涯学習人材バンク」への読書に係るボランティア等の登録と情報発信。

